

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.21

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尼崎市昭和通7丁目計画 新	階数	地上14F
建設地	兵庫県尼崎市昭和通7丁目243番、	構造	RC造
用途地域	商業地域,防火地域,準防火地域	平均居住人員	291 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2025年11月26日
敷地面積	1,650 m ²	作成者	河合 政也
建築面積	964 m ²	確認日	2025年11月26日
延床面積	11,896 m ²	確認者	河合 政也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値 100%, ②建築物の取組み 66%, ③上記+②以外の 66%, ④上記+ 66%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	自然換気が可能な開口部を各住戸に設置し、建物利用者の快適な生活環境を維持するための開口部の遮音性能を高め、室内の安全性の面からF☆☆☆☆の内装材を採用した	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用し、空気質環境に配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 ホールライフカーボン排出率が一般的な建物に対して低く地球温暖化への配慮がある
Q2 サービス性能	耐用年数が高い配管の使用等により、建物の耐用性に配慮している	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を使用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される